

# 第136回(令和6年2月)情報処理技能検定試験(データベース)4級問題

## <問題>

- 各テキストデータ（日本語シフトJIS、CSV形式）を使用して<テーブル定義>を基にテーブルを作成し、<処理条件>に従って<出力例>のような表を完成し、印刷しなさい。  
文字は左揃え、数値は桁揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- テキストデータはDB4フォルダー内のデータを使用する。
- 試験時間は20分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

## <テーブル定義>

エリアマスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	エリアCO	長整数型	1
	エリア	テキスト型	小山

※エリアマスタ.csvの1行目は項目名とする。

売上テーブル

KEY	項目名	データ型	データ例
○	売上CO	長整数型	101
	顧客名	テキスト型	森脇 優
	エリアCO	長整数型	6
	売上額	長整数型	3700

## <処理条件>

売上額が9,000円以上の売上額一覧表を作成する。

- それぞれのエリアCOを関連付けしなさい。  
<出力例>のとおり、それぞれの項目を選択しなさい。  
売上額が9,000以上を抽出しなさい。  
[処理結果件数：5件]
- 表を作成しなさい。  
表題は“売上額一覧表（9,000円以上）”とする。  
データの並び順は売上額の降順とする。  
売上額は通貨表示とし、表の形式は<出力例>のとおりとする。

## <出力例>

売上額一覧表（9,000円以上）					
売上CO	顧客名	エリアCO	エリア	売上額	
102	平岡 花歩	5	天神町	¥10,120	
		}			
127	谷口 由野	6	桜台	¥9,000	

# 第136回(令和6年2月)情報処理技能検定試験(データベース)3級問題

## <問題>

- 各テキストデータ（日本語ソフトJIS、CSV形式）を使用して<テーブル定義>を基にテーブルを作成し、<処理条件>に従って<出力例>のような表を完成し、印刷しなさい。  
文字は左揃え、数値は桁揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- テキストデータはDB3フォルダー内のデータを使用する。
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

## <テーブル定義>

### 社員マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	社員CO	長整数型	101
	社員名	テキスト型	畑中 優
	支店CO	長整数型	11

※社員マスタ.csvの1行目は項目名とする。

### 支店マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	支店CO	長整数型	11
	支店名	テキスト型	東京

※支店マスタ.csvの1行目は項目名とする。

### 売上テーブル

KEY	項目名	データ型	データ例
○	売上年月	長整数型	202304
○	社員CO	長整数型	101
	売上額	長整数型	2937000

## <処理条件>

社員別に集計した合計売上額一覧表を作成する。

- それぞれの社員CO・支店COを関連付けしなさい。  
社員CO・社員名・支店名ごとに売上額を集計（合計）しなさい。  
売上額の集計は“合計売上額”とする。  
[処理結果件数：7件]
- 表を作成しなさい。  
表題は“社員別合計売上額一覧表”とする。  
データの並び順は合計売上額の昇順とし、表の形式は<出力例>のとおりとする。

## <出力例>

社員別合計売上額一覧表			
社員CO	社員名	支店名	合計売上額
104	佐川 治	名古屋	16,002,000
		く	
105	森下 利奈	東京	21,707,000

# 第136回(令和6年2月)情報処理技能検定試験(データベース)2級問題

## <問題>

- 各テキストデータ（日本語シフトJIS、CSV形式）を使用して<テーブル定義>を基にテーブルを作成し、<処理条件>に従って<出力例>のような表を完成し、印刷しなさい。  
文字は左揃え、数値は桁揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- テキストデータはDB2フォルダー内のデータを使用する。
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

## <テーブル定義>

### 顧客マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	顧客CO	長整数型	101
	顧客名	テキスト型	大和産業
	ランクCO	長整数型	2
	エリアCO	長整数型	17

※顧客マスタ.csvの1行目は項目名とする。

### ランクマスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	ランクCO	長整数型	1
	ランク	テキスト型	一般
	還元率	倍精度浮動小数点型	0.01

※ランクマスタ.csvの1行目は項目名とする。

### 利用情報テーブル

KEY	項目名	データ型	データ例
○	顧客CO	長整数型	101
○	利用日	日付/時刻型	2023/12/10
	利用料金	長整数型	29400

## <処理条件>

- 2023年4月1日より前のレコードを削除し、合計利用料金が25万円以上の顧客別一覧表を作成する。
  - <利用情報テーブル>の利用日が2023/4/1より前のレコードをすべて削除しなさい。  
[削除件数：208件]
  - それぞれの顧客CO・ランクCOを関連付けしなさい。  
顧客CO・利用日ごとにポイントを求めなさい。  
ポイント=利用料金×還元率  
[処理結果件数：628件]
  - 顧客CO・顧客名・ランクごとにポイント・利用料金を集計（合計）しなさい。  
ポイントの集計は“合計ポイント”、利用料金の集計は“合計利用料金”とする。  
合計利用料金が250,000以上を抽出しなさい。  
[処理結果件数：5件]
  - 表を作成しなさい。  
表題は“合計利用料金一覧表（25万円以上）”とする。  
データの並び順は合計利用料金の昇順とし、合計利用料金は通貨表示とする。  
表の形式は<出力例>のとおりとする。

## <出力例>

合計利用料金一覧表（25万円以上）				
顧客CO	顧客名	ランク	合計ポイント	合計利用料金
214	佐藤工業	ゴールド	25,000	¥250,000
		}		
231	クラフト	ブロンズ	5,776	¥288,800

# 第136回(令和6年2月)情報処理技能検定試験(データベース)1級問題

## <問題>

- 各テキストデータ(日本語シフトJIS、CSV形式)を使用して<テーブル定義>を基にテーブルを作成し、<処理フロー>および<処理条件>に従って<出力例>のような表を完成し、印刷しなさい。  
文字は左揃え、数値は桁揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- テキストデータはDB1フォルダー内のデータを使用する。
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

## <テーブル定義>

### 顧客マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	顧客CO	長整数型	101
	顧客名	テキスト型	三橋 昭義
	ランクCO	長整数型	1

※顧客マスタ.csvの1行目は項目名とする。

### 商品マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	商品CO	長整数型	11
	商品名	テキスト型	カステラ
	単価	長整数型	1400

※商品マスタ.csvの1行目は項目名とする。

### ランクマスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	ランクCO	長整数型	1
	ランク	テキスト型	VIP
	還元率	倍精度浮動小数点型	0.05

※ランクマスタ.csvの1行目は項目名とする。

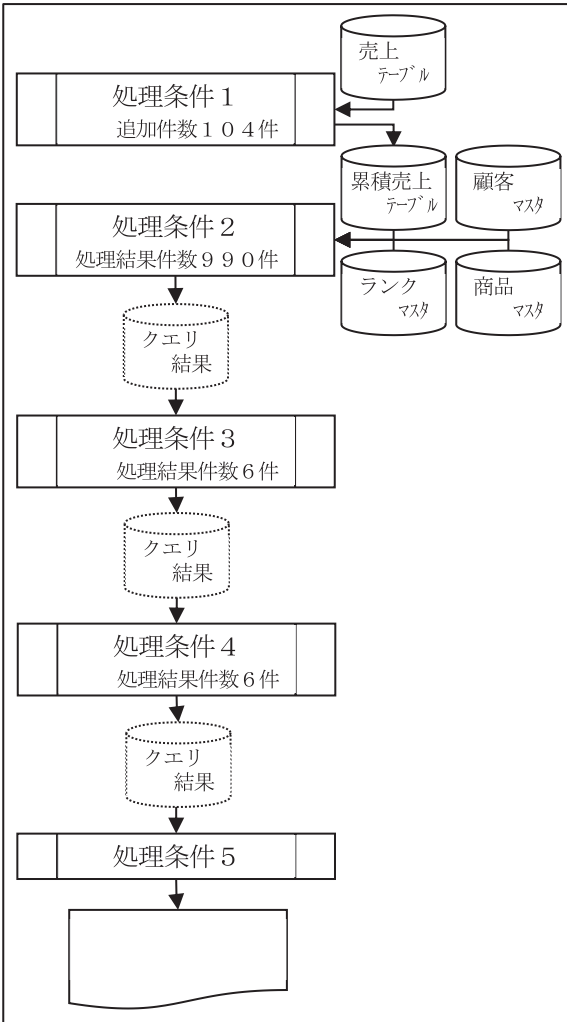
### 売上テーブル

KEY	項目名	データ型	データ例
○	顧客CO	長整数型	101
○	売上日	日付/時刻型	2024/1/1
○	商品CO	長整数型	16
	数量	長整数型	1

### 累積売上テーブル

KEY	項目名	データ型	データ例
○	顧客CO	長整数型	101
○	売上日	日付/時刻型	2023/4/1
○	商品CO	長整数型	11
	数量	長整数型	4

## <処理フロー>



## <処理条件>

- 1月の売上を追加し、商品別売上額一覧表を作成する。
  - すべてのレコードを<累積売上テーブル>に追加する。
  - 顧客CO・売上日・商品COごとに売上額を求める。  
売上額=単価×数量
  - 商品CO・商品名とランクごとに売上額を集計(合計)する。
  - 商品COごとにVIP比率を求める。  
 $VIP比率 = VIP \div (VIP + \text{プレミアム} + \text{ゲスト})$
  - 表を作成する。  
表題は“商品別売上額一覧表”とする。  
データの並び順はVIP比率の昇順とし、VIP比率は%の小数第1位未満四捨五入の表示とする。  
表の形式は<出力例>のとおりとする。

## <出力例>

商品CO	商品名	VIP	プレミアム	ゲスト	VIP比率
12	もなか	288,000	283,500	336,000	31.7%
					}
15	大福	144,000	83,400	117,600	41.7%